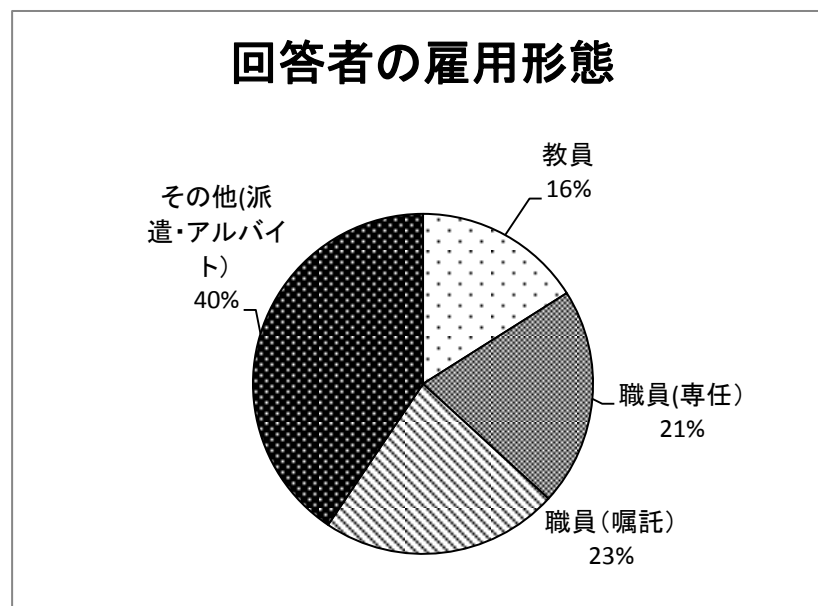
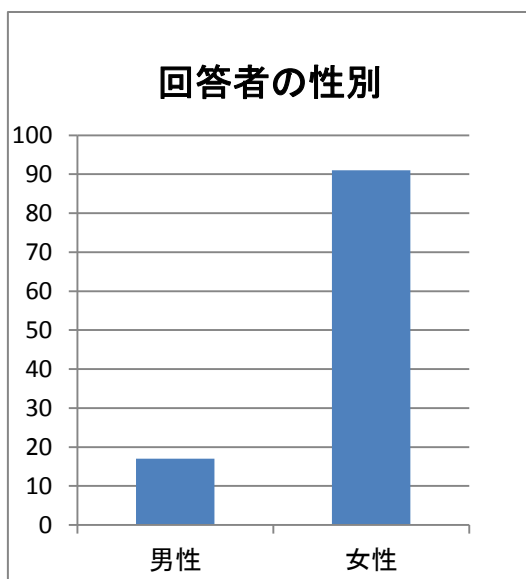


学内託児所に関するアンケート 全体集計

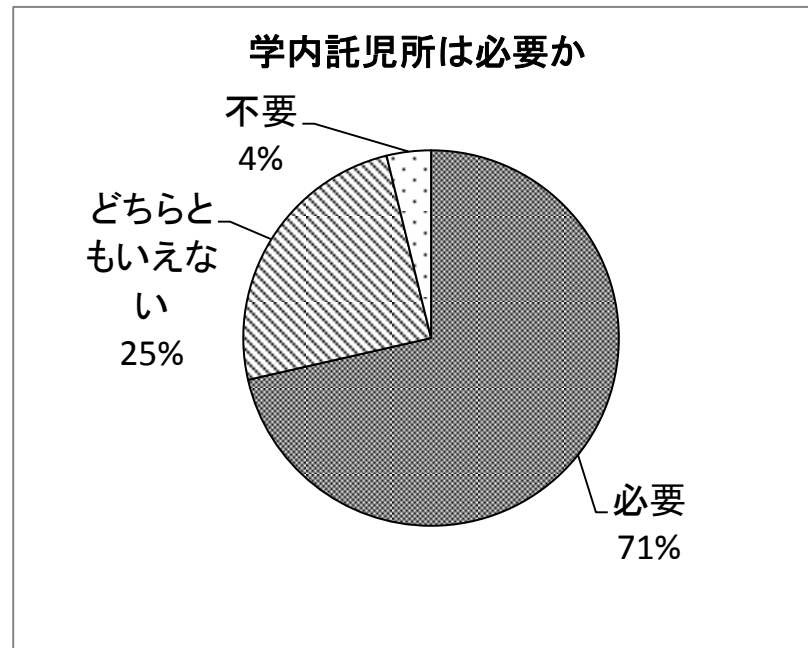
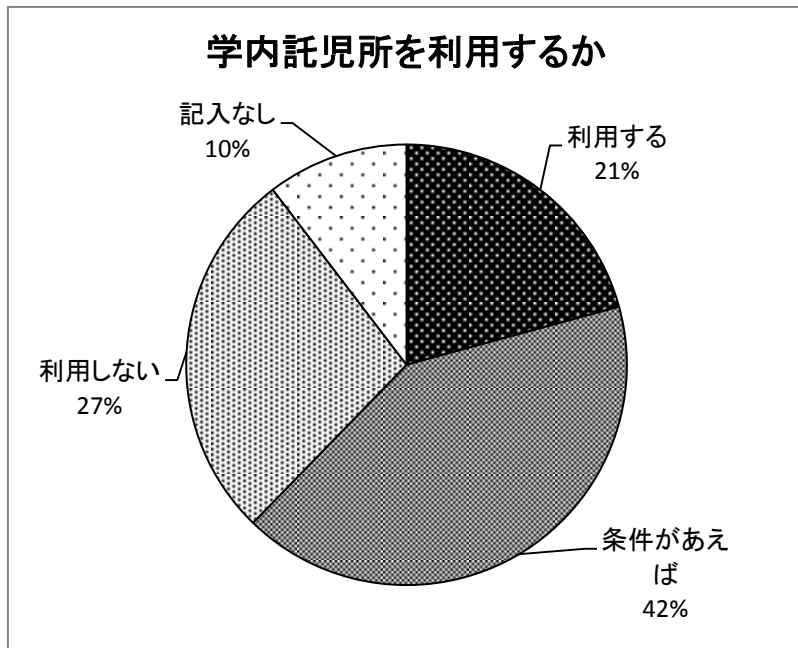
今回のアンケートは教員、職員（専任・嘱託）、派遣、アルバイトすべてを対象に行われた。241 名に配布し、108 枚回収され、回収率は 44.8%であった。女性が圧倒的に多いが、この問題に対する関心の高さがうかがえる。

性別	男性	女性
人数	17	91

雇用形態	教員	職員(専任)	職員(嘱託)	その他(派遣・アルバイト)
人数	17	22	24	43

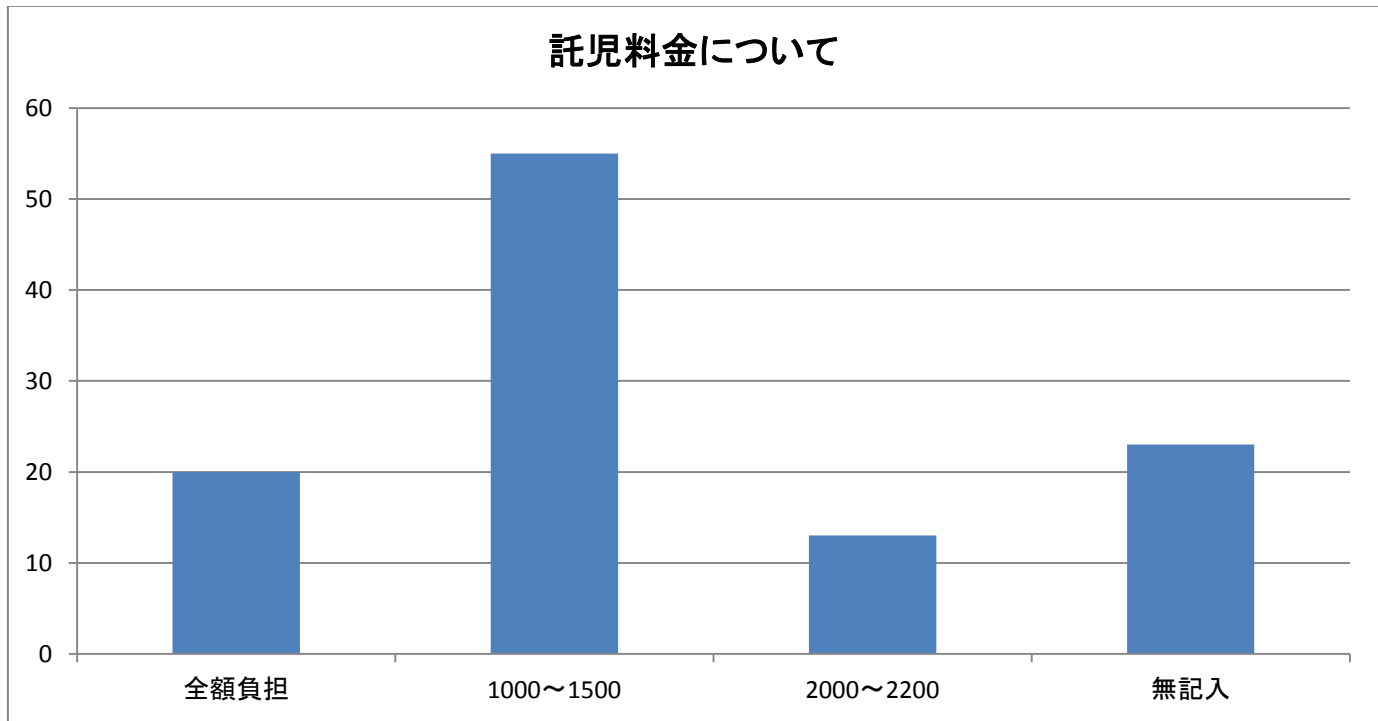


学内託児所を利用するか	利用する	条件があえば	利用しない	記入なし	学内託児所は必要か	必要	どちらともいえない	不要
	人数	22	44	29		11	人数	75



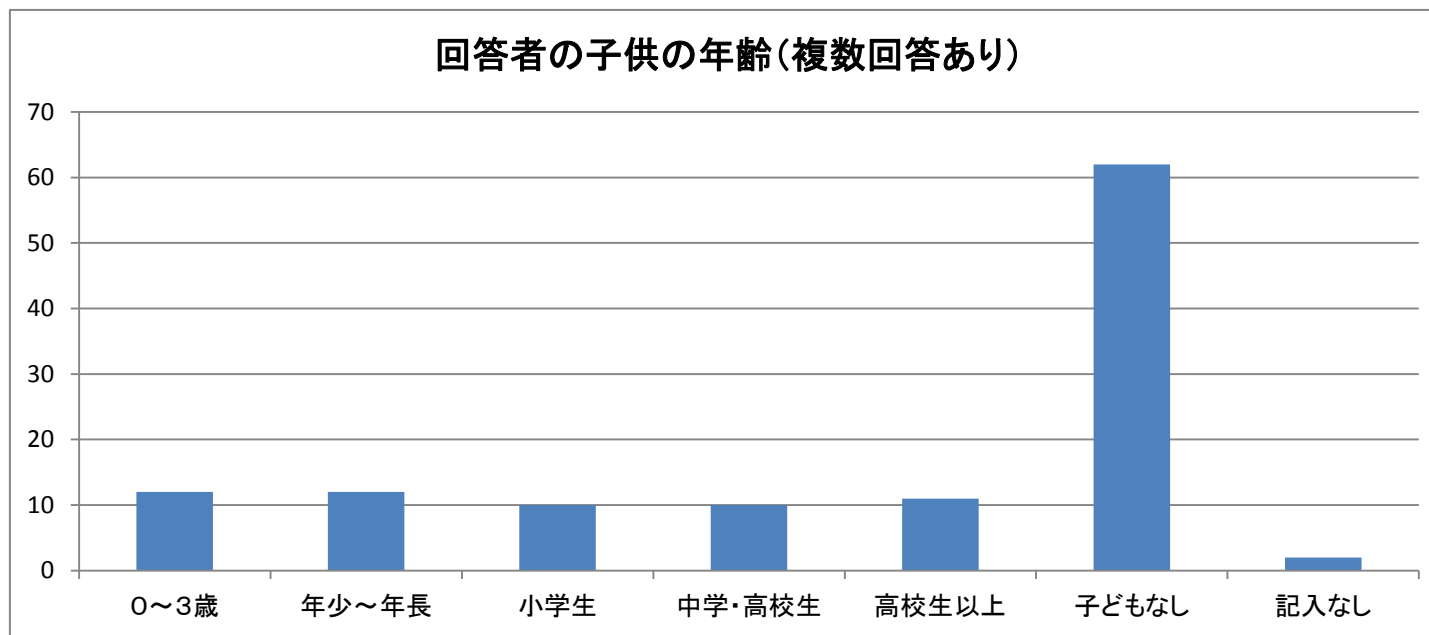
回答者の7割以上が学内保育所は「必要」と答えており、学内託児所があれば利用するかとの問いに関しては、「利用する」「条件があえば利用する」をあわせて63%が利用すると答えている。

託児料金	全額負担	1000～1500	2000～2200	無記入
人数	20	55	13	23

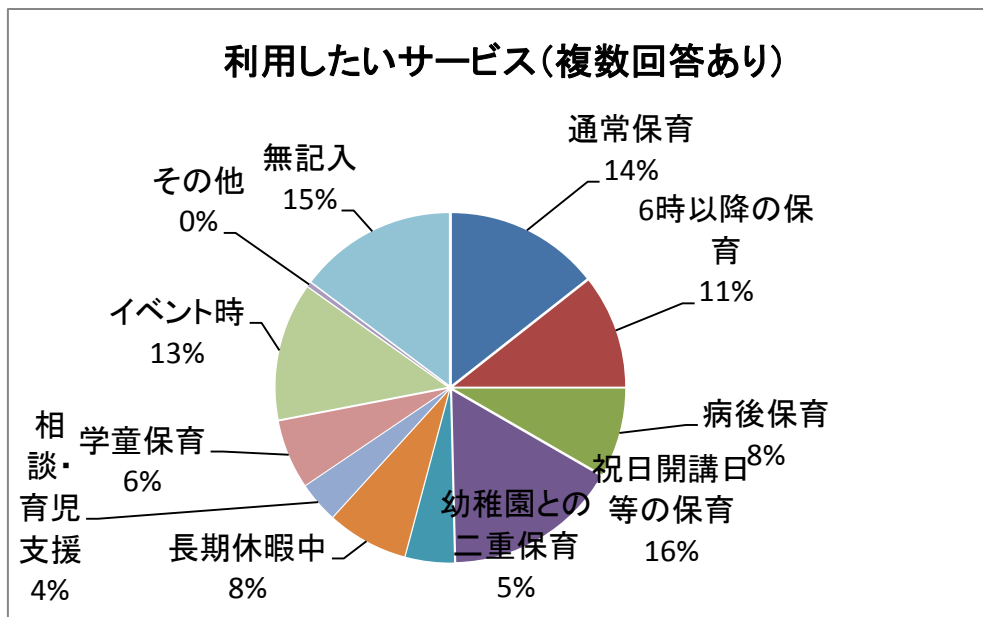
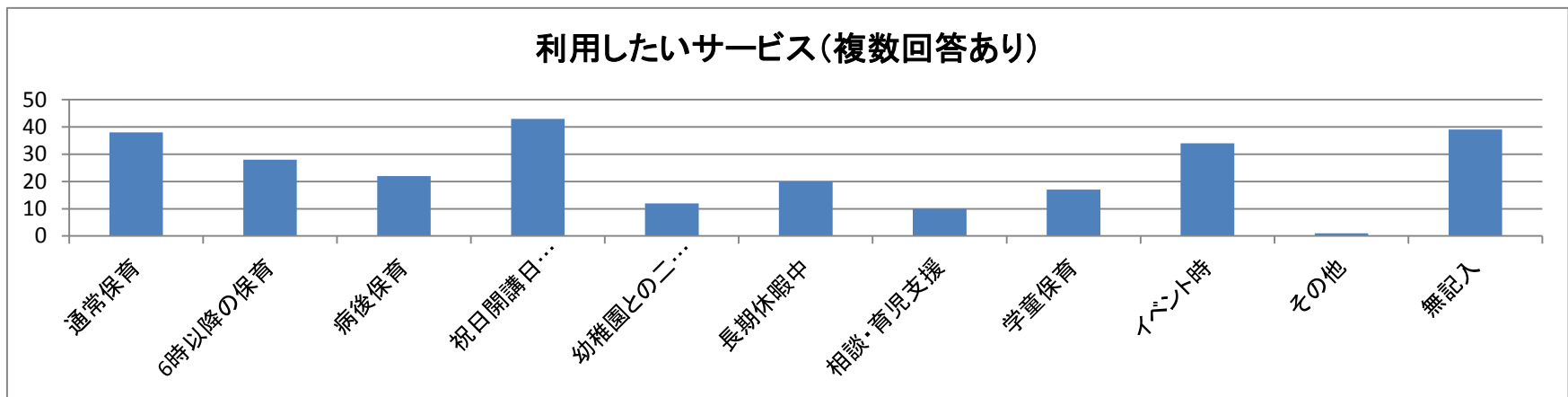


託児料金は設問が選択式だったので1000～1500円代がもっとも多いが、自由記述では「1時間あたりせめて800円未満でないととてもやっていけない」という意見が、特に非正規雇用層からは多かった。

子どもの年齢	0～3歳	年少～年長	小学生	中学・高校生	高校生以上	子どもなし	記入なし
人数	12	12	10	10	11	62	2



利用したサービス	通常保育	6時以降の保育	病後保育	祝日開講日等の保育	幼稚園との二重保育	長期休暇中	相談・育児支援	学童保育	イベント時	その他	無記入
人数	38	28	22	43	12	20	10	17	34	1	39



利用したいサービスの中で最も多かったのは「祝日開講日の保育」で、ついで「通常保育」、「イベント時の保育」「6時以降の保育」の順に多かった。病後保育は数は多くないが、自由記述を見るとニーズは逼迫したものがあると思われる。